

校長室だより  
NO. 43  
令和元年12月23日

# すべては光る

梅園小学校長  
たか すりょうへい  
高 須 亮 平

## 令和元年度2学期の子どもたちの育ち

この2学期は、意味や趣旨を明確にしようという方針のもと、学習や行事等を実施してきました。どのようなときにも、年間のスローガン「信じよう わたしのやればできる力」を掲げて取り組めたことに価値を感じています。

まず、10月の部活動の球技大会では、夏の水泳部男子に続き、女子ソフトボール部が優勝を勝ち得ました。また、多くの部活動も最善を尽くすことができました。学芸会も充実していました。その学級・学年に合った劇や演奏ができたことはとても意味のあることです。11月の5年の山の学習や6年の修学旅行もスローガンのもとと目的な活動ができました。12月のマラソン大会では一人一人の目標を目指した努力ができ、また、梅園プ



学芸会

ライドフェスティバルでは、各学級のこれまでの生活科・総合的な活動などでの取り組みを楽しく工夫することができました。それを支えたのは、やはり保護者の皆様でした。フェスティバルのもちつきやブース発表では、多くのご支援をいただきました。本当にありがたく思っています。

今回は、2学期の子どもたちの成長を、各学級担任の指導記録をもとに振り返りたいと思います。担任教師の子どもへの願いを明確にして取り組むことの大切さをつくづく感じます。

### ○ 特別支援学級の学級担任の指導記録

2学期は「なかまの輪」をつくりたい、温かい雰囲気のある学級にしたいと願って指導に当たってきました。それは、「学校に来てよかった」と安心できる雰囲気が、次の登校の1日につながったからです。2学期を終えようとしている今、子どもたちは、朝、「おはよう」と挨拶し合うことができいま



フェスティバル・もちつき

す。私にも自分から近づいてきて、一人ずつ挨拶してくれま

す。A君は、私の顔を見ると「おはようございます」と言えるようになりました。事情があって遅刻してきた子にも声を掛けられます。挨拶をされると、うなづいたり小さな声で「おはよう」と返したりしています。学校に来ているからこそ、友達と仲良くすることを学んでほしいと思います。友達と過ごす心地よさ、友達と挨拶することの気持ちよさ、友達の中にある自分の居場所を感じ、安心できることを感じてほしい。これが整えて「勉強する」ことへ向かっていけるといいなあと思います。A君はBさんといつもケラケラ笑って楽しそうに遊んでいる。そして、友達とのやりとりの中で、コミュニケーションをいつもとることができています。そして、写真を見て、伝えたい言葉を文で書けるようになってきています。子どもたちの力は、まだまだ伸びると思います。

○ 2年の学級担任の指導記録

この2学期は、学級の子どもたちが友達と一緒に過ごし関わる中で、自分の居場所を見つけ、安心して自分を出しながら学習や行事をがんばれるようになってきました。友達に自分らしさやよさを認めてもらい、自己肯定感を育むことを願って接してきました。授業ではグループ活動や全体での話し合いの場を大事にし、行事などでは子どもたちの意見やアイデアを取り入れるようにしてきました。しかし、1学期より慣れてきたのはよいですが、甘えやわがままな自己主張が増えて、けんかなども増えました。相手の嫌な点だけでなく、自分が直す点を指導してきましたら、お互い助け合えるようになってきました。現状としては、自分の意見を聞いてもらいたい気持ちが強く、聞く姿勢はまだですが、少しずつ、友達の意見は、新しい発見につながったり、自分の考えを見直す機会になったりすることは、分かるようになってきています。

○ 5年の学級担任の指導記録

2学期は盛りだくさん過ぎるくらいのことがありました。子どもたちは、よくがんばり抜いたと思います。苦しい場面もありましたが、よく耐え抜いたと思います。特に、「自分たちでやるんだ」という気持ちを表すことができるようになったことは、かなりの成長だと思います。何だか山の学習で自信が付いたのか、「自分たちでやりたい」という主張ができるようになってきましたし、フェスティバルの準備から運営までよく行動できたと思います。このことをほめて3学期につなげたいと思います。反対に、まだまだだなど思うのは、まわりを気遣う行動や心が十分にできていないことと思います。優しい子たちですが、まわりに無関心などところがあることも感じられますので、学級全体・学年全体でまとまっていくためには、自分のことを主張するだけでなく、まわりを気遣う心が必要ということに気付いてほしいと思います。そのための具体的な指導を試みていきたいです。



山の学習・テントでの宿泊

先生たちの2学期の指導を振り返った記録は充実した内容が多く見られ、とてもうれしくなってきました。それだけ子どもたちの成長が見られたということです。ここでは、3人の指導記録を紹介しました。それぞれの学年・学級ですが、共通することにも気付きます。まず、学級で安心して過ごすことができる雰囲気づくりです。それには、子ども同士のかかわり合いを大切に進められてきていることが分かります。特別支援学級では、あいさつ活動からコミュニケーションをとり、学習へとつなげて考えられています。2年の学級では、話し合いや自分を振り返ることを通して、助け合いができるようになってきています。5年の学級では、山の学習でのがんばりが自信となり、他の行事に生かすことができているようです。

その上で、課題にも触れられています。2年の「聞く」ことであったり、5年のまわりを気遣うことであったりです。子どもは与えられた環境の中で育っていきます。そのためには、教師や大人が確かな願いを持って働きかけていく必要があります。そうすれば3学期の確かな育ちも期待できます。

いよいよ明日から冬休みです。クリスマス、お正月と子どもにとっては楽しみが連続しています。家庭の時間を大切に、安全と健康に気を付けて、冬休みが有意義な時間となることを期待しています。それでは、よいお年をお迎えください。